

更新

事業者名	株式会社 杉本本店
------	-----------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

和牛生産者の高齢化や輸入肉増加などで和牛が年々減少していく中、繁殖から肥育、生産、販売までの一貫生産態勢により持続的に和牛肉を安定供給する。また、国際基準の生産管理・衛生管理を追求し、最新最善の方法を駆使し、安全で安心な牛肉・食品を国内外へ提供する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・公平、適正な評価、待遇に基づく女性や外国人及び高齢者の雇用環境整備と適正な人材配置	・女性役付者比率 2023年25.8%⇒2026年27%以上 ・外国人採用数(含グループ会社) 2023年33名⇒2026年35名
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	・高度な生産、衛生管理のもと、自社製品の賞味期限の長期化に取り組み、食品ロスを低減	・賞味期限 2023年70日⇒2026年70日以上
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・FSSC22000の基準維持による安全、安心な製品、商品の持続的な提供	・食品事故発生件数 2023年0件⇒2026年0件継続

<パートナーシップ>

・株式会社 矢岳牧場 ・株式会社 スギモトファーム  
製品の安定提供及び環境対策への取組において連携する

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。  
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。  
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	○太陽光発電設備の設置 ○自家発電と発電消費量の拡大とCO2削減 ・太陽光発電は設備を設置し自家発電消費に取り組んだが、設備修繕の要因もあり指標達成に至らなかった。	年間280,000KWHを自家発電で賄う	・年間自家発電量 274,091KWH
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	○厳格、高度な生産・衛生管理による自社製品の賞味期限の長期化、食品ロス低減 ・厳格な商品テストを繰り返し指標を達成した。	賞味期限60日	・賞味期限70日
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	○FSSC22000の基準を維持し、持続的に食品事故発生ゼロとする。 ・FSSCに関する社員研修の実施により理解度深耕に取り組み、食品事故発生ゼロを継続した。	FSSC22000の基準を維持し、持続的に食品事故発生ゼロとする。	・FSSC22000更新済 ・食品事故発生件数ゼロ

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。